

授業改善の工夫	児童の活動の振り返りと教師の価値付けの工夫
---------	-----------------------

第6学年 国語科学習指導案

単元名	人物と人物の関係を考えよう 「風切るつばさ」
単元のねらい	登場人物の相互関係に着目し，行動描写や心内表現等から人物の心情の変化をとらえることで，作品をより多面的に読もうとすることができる。

<p>◆働く「見方・考え方」</p> <p>○人物同士の相互関係をとらえ，多面的に作品を味わう。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>これまでの，中心人物の視点から作品を読み解くことが多かったが，対人物の視点で読むことで，人物同士の関係を考えたり，描かれていない心情を想像したりと，作品を多面的に考えられるようになるはずである。テキストから得られた情報を多面的に想像してつなぎ合わせ，物語の世界を何層にも楽しめるような価値付けをする。</p> </div>	<p>◆言語活動</p> <p>イ 詩や物語，伝記などを読み，内容を説明したり，自分の生き方などについて考えたことを伝えたりする活動</p> <p>○単元で活用する言語活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人物関係図で登場人物の相互関係を考える。 ・リライトをして対人物の視点から作品を読む。 <p>○ゴールとなる言語活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビブリオバトルで作品のおもしろさを友達に伝える。 	<p>◆教材</p> <p>○第一次 泣いた赤おに 桃太郎</p> <p>○第二次 風切るつばさ</p> <p>○第三次 並行読書教材</p>
---	---	---

◆言葉による見方・考え方を働かせ，深い学びが実現する場面

- 中心人物の心情が変化した場面を，対人物の視点から捉え直すことで，中心人物の心情の変化には，対人物の勇気や決意が大きく関わっていることに気づく場面
- 対人物の視点から考えたり，人物関係図で整理したりすることの有用性を考える場面
- 選書した本のよさを伝えるために，どんな読み方を使えばいいか考える場面

◆単元構想

次	時	主な学習活動	評価規準		
			知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
一	1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>知っている作品を別の人物の視点から読もう。</p> </div> <p>○「泣いたあかおに」のリライト作品（教師作成）を聞き，対人物の視点から作品を読むおもしろさに関心をもつ。</p> <p>○並行読書から，人物同士の関わりが描かれた本を読み始める。</p>			本やリライト作品に関心を持ち，登場人物の相互関係を考えながら，進んで並行読書の本を読もうとしている。

二 次	2	<p>クルルの何が変わったのか。</p> <p>○描写的な表現から、中心人物クルルの心情の変化を考える。</p> <p>○「どうしてクルルの気持ちは変わったのか」について、初発の感想を書く。</p>	人物の心情を表す描写や比喻などの表現のよさに気付いている。		登場人物の相互関係や心情の変化に着目し、想像豊かに読もうとしている。
	3	<p>クルルとカララは互いに何を伝えたかったのか。</p> <p>○カララがおりたったときの二人の心情を考え、人物関係図にまとめる。</p>		登場人物の相互関係や心情を想像し、自分の考えをまとめている。	
	4	<p>カララは、なぜ何も言わず、じっとにいたのか。</p> <p>○叙述をもとに、対人物の心情の変化を考える。</p>		登場人物の相互関係や心情を想像し、自分の考えをまとめている。	
	5	<p>何も言わずに降り立ったときの様子をリライトし、「カララ物語」をつくろう。</p> <p>○カララの視点から作品をリライトし、『その時』をカララの視点でリライトすると」を書き、友達と交流する。</p>		叙述をもとに、対人物の視点からリライトした文を書いている。	
	6	<p>「クルルも少し照れて笑って見せた」このとき、クルルはどんなことをカララに伝えたかったのか。</p> <p>○「どうしてクルルの気持ちは変わったのか」について考え、初発の感想と比べる。</p>		対人物の心情を手がかりに、中心人物の心情の変化の因果関係を読んでいる。	
	三 次	7	<p>どんな「読みのワザ」を使ったら、友達に本のおもしろさを伝えられるか。</p> <p>○第二次でどんな「読み方」を学び、第三次でどんな「読み方」を使えそうかを話し合う。</p>		
8 9		<p>「読みのワザ」を使って、お気に入りの本を紹介しよう。</p> <p>○並行読書から気に入った本を選び、本のおもしろさを紹介するカードをつくったり、紹介文を書いたりする。</p> <p>○ビブリオバトルで作品を友達と交流する。</p>	読書が自分の考えを広げること気付いている。	登場人物の相互関係を考えながら作品のテーマについて自分の考えをもっている。	既習の読み方を自分の読書生活に生かそうとしている。
10		<p>この単元で学んだことは何か。</p> <p>○単元で学習したことを振り返り、どんなことが身に付いたかを考え、「自分物語」を書く。</p>	登場人物の相互関係や心情の変化を読む「読み方」に気付いている。		